

# 醍醐ルート 見どころ紹介

だいごじ  
世界遺産

## 1 醍醐寺



天下人豊臣秀吉が花見を行い、桜の名所として知られる世界文化遺産醍醐寺。木造建築、絵画、古文書等の多くの文化財を収めておられます。

平安時代に建てられた五重塔(国宝)は、京都府最古の木造建築物です。また、醍醐寺開創の地である上醍醐には、醍醐の地名の由来になったとも言われる醍醐水があり、今でもこの水を飲むことができます。

開館時間 > 9:00 ~ 17:00 (3月1日 ~ 12月第1日曜日まで)  
9:00 ~ 16:30 (12月第1日曜日の翌日から2月末)

休館日 > 年中無休

拝観料 > 醍醐寺拝観券

大人1,000円、中高生700円、小学生以下は無料  
※春期(3月20日~5月GW最終日)は別料金  
上醍醐山料は大人600円、中高生400円  
(醍醐寺拝観券をお持ちの場合はそれぞれ100円引き)

※拝観料について、詳しくはホームページをご確認ください。

<https://www.daigoji.or.jp/guide/time.html>

住所 > 京都市伏見区醍醐加藍町18

電話 > 075-571-0002

コラム  
醍醐歴史人物紀行  
**醍醐の里人に歓迎された悲劇の老将源頼政**

高倉院以仁王をまつりあげて平家打倒の兵を挙げた源頼政ですが、思うように軍勢が集まらず苦戦。近江から奈良へ逃れ再起を図ろうと以仁王、息子の仲綱ら50余騎とともに醍醐にさしかかると、里人は一行に粥を振る舞い、道を教えて助けたといわれています。この道が醍醐から日野山の麓を通り、木幡を経て宇治に通じる頼政道です。こうして宇治平野院にたどりついた一行は、追ってきた平家と「平家物語」の名場面として知られる橋合戦を繰り広げましたが勝てず、宇治の地で自殺して果てたのでした。

## 2 長尾天満宮



醍醐寺の仁王門から北門に向かって少し歩き、長い石段を上り、醍醐寺の境内と隣接した高台にあります。菅原道真の衣服等が

太宰府から持ち帰られ埋められたと伝わる「菅公衣装塚」があります。

住所 > 京都市伏見区醍醐加藍町18



## 3 赤間水・赤間薬師堂



醍醐には、醍醐三水と呼ばれる湧き水があり、赤間水(別名:威強水(いどくすい))はその中の1つです。赤間薬師堂の堂内には、平安時

代後期に制作された木造薬師如来坐像が安置されており、源平の争いを避けるため赤間関(下関市)から移されたものと言われています。

※中に入ることはできません。

住所 > 京都市伏見区醍醐御陵東裏町27

## 4 隨心院



小野小町ゆかりの地であり、文塚や化粧井戸などの史跡や約230本の梅の木のある小野梅園があります。寝殿造りの本堂、書院、庫裡(くり)

などがある境内は国史跡であり、たくさんの重要文化財があります。

開館時間 > 9:00 ~ 16:30 休館日 > 年中無休

拝観料 > 大人500円(梅園は別途500円)※梅園は3月1日から3月31日

住所 > 京都市山科区小野御靈町35

電話 > 075-571-0025

## 5 勘修寺



通り名はかんしゅうじ。平安時代に醍醐天皇によって創建され、皇室と藤原氏にゆかりの深い寺院です。参道の両側は白壁の築地塀(ついじべい)で、境内の西側には本堂や北側には重要文化財の書院があり、南側には睡蓮で知られる氷室池を中心庭園が広がっています。

開館時間 > 9:00 ~ 16:00 休館日 > 年中無休

拝観料 > 大人400円

住所 > 京都市山科区勘修寺仁王堂町27-6

電話 > 075-571-0048

# 小栗栖ルート 見どころ紹介

コラム  
醍醐歴史人物紀行

## 3 弘法大師杖の水



真言宗の開祖である弘法大師(空海)が、この場所を杖の先で掘ったところ、水が湧きでるようになります。社殿や旧記等は火災により消失し、創建年度は不明ですが、飛鳥時代に藤原鎌足の長子、定惠和尚が建立した法琳寺の鬼門除けの神社といわれています。

住所 > 京都市伏見区小栗栖中山田町



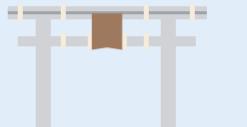
## 4 天穗日命神社



天穗日命を祭る本殿は、屋根は檜皮葺で正面の柱間が2間という京都市内にはほとんど例のない二間社流造形式の建物で、京都市登録有形文化財に登録されています。また、境内は「万葉集」などの和歌で知られる「石田の杜」※とされており、木々に囲まれた環境は、訪れた人の心に癒しを与えてくれます。

※万葉集より「山科の石田の杜のすめ神に幣取り向けて我れは越え行く逢坂山を」

住所 > 京都市伏見区石田森西66



コラム  
醍醐歴史人物紀行

小栗栖で政権の行方を見聞定恵

小栗栖にはかつて塔堂が立ち並ぶ法琳寺(小栗栖寺)があったといわれ、この寺を創建したのが藤原鎌足の長男の定恵。鎌足は天智天皇の側近で大化の改新の仕掛け人で、彼も当然政治との関わりは深く想像されます。政権をめぐり血で血を洗う戦いが相次ぐ世のなかで、人間不信に陥り、出家したのでしょうか、それを知る手がかりはありません。小栗栖には社殿を極めたであろう法琳寺跡(江戸時代に廃寺)や瓦を焼いた窯跡が残されています。

DAIGO Community Bus 醍醐コミュニティバス



## 醍醐 コミュニティバス

「醍醐コミュニティバス」は、醍醐地域における企業や団体の協力のもと、地域住民自らが企画・運営している定期的な地域バスであり、醍醐地域をくまなく走っています。醍醐地域の皆さんの買い物や通勤、通学などの生活の足としての利用だけでなく、醍醐観光にもとても便利です。春の桜、秋の紅葉など醍醐の魅力をお楽しみいただく際に、是非、ご利用ください。



醍醐コミュニティバス  
マスコットキャラクター  
コミちゃん



路線図 時刻表

# 日野ルート 見どころ紹介

## 1 法界寺



親鸞聖人の生家である藤原氏の一族にあたる日野家の氏寺で、國宝である阿弥陀堂と定期様の阿弥陀如来像があり、本尊薬師如来立像に祈願すると母乳の出が良くなることから「乳薬師」の別名で知られ、1月14日には五穀豊穣を祈願する修正会の結願日に裸踊りが行われています。

開館時間 > 9:00 ~ 17:00 (10月 ~ 3月は、9:00 ~ 16:00)

休館日 > 不定休

拝観料 > 大人500円

住所 > 京都市伏見区日野西大道町19

電話 > 075-571-0024

## 3 平重衡の墓

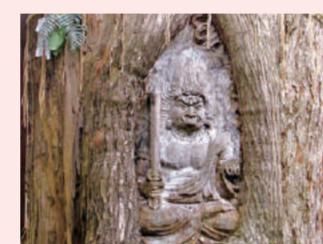


平重衡は平清盛の五男であり、平氏の大将の一人として各地で戦い、一ノ谷の合戦で源氏に捕えられ、木津川の河原で斬首されました

(1185年)。この墓は、重衡が妻の佐(すけ)の局(つぼね)と最後の別れを惜しがったこの地に建てられたものです。その後、地元の方々によって、保存・清掃など、守り続けられています。

住所 > 京都市伏見区醍醐外山街道町

## 5 善願寺



地元では腹帝地蔵さんの名前で親しまれ、安産にご利益があります。重要文化財の地蔵菩薩坐像は優しさがあり、境内にある生木に直接彫られた不動明王像はとても迫力があります。拝観される場合は、事前にご連絡をお願いします。

開館時間 > 9:30 ~ 16:00

休館日 > 不定休(要予約)

拝観料 > 大人500円

住所 > 京都市伏見区醍醐南里町33

電話 > 075-571-0036

## 4 一言寺



醍醐寺の塔頭寺院で、正式名称を金剛王院と言います。ご本尊の千手觀音に一心に祈れば願いがかなうことから、一言寺の名が興ったと伝えられています。門からは歴史ある醍醐の街を一望できます。

開館時間 > 9:00 ~ 17:00

休館日 > 年中無休

拝観料 > 無料

住所 > 京都市伏見区醍醐一言寺裏町21

電話 > 075-571-0011

## 「安心安全おもてなしのまち醍醐・推進協議会」の活動について

現在、醍醐地域では安心安全に係る団体(各種地域団体、行政、警察、消防)相互の緊密な連携を図り、誰もが安心安全に、笑顔で、楽しく暮らし、観光できる、やさしさあふれるおもてなしのまち・醍醐を目指し、地域ぐるみで様々な安心安全の取組を進めています。

「こどもみまもり隊」による登下校の安全確保

電光掲示板による啓発活動(地下鉄石田駅)

安心安全に係る注意喚起や地域の小学生による安心安全に係る標語を掲示

醍醐安心安全ニュースの発行

子育てセミナー(約700セミナー)に配布

## 歳時記



3月 春分の日 春季彼岸会法要(各寺院)  
最終日曜日 はねづ踊(隨心院)

4月 第1日曜 お千度祭(長尾天満宮)  
第2日曜 豊太閼花見行列(醍醐寺)

5月 15日~21日 准胝觀世音菩薩ご開扉法要(醍醐寺)

6月 30日 夏越大祓茅の輪くぐり(長尾天満宮)

8月 5日 醍醐寺万灯会(醍醐寺)  
お金 孟蘭盆会法要(各寺院)  
17日 夏觀音供柴燈護摩火渡り(一言寺)  
中下旬 地蔵盆(町内各所)

発 行: 安心安全おもてなしのまち醍醐・推進協議会(事務局 伏見区役所醍醐支所地域力推進室)  
醍醐観光協会

協 力: 学生防犯ボランティア・ロックモンキー  
問合せ先: 伏見区役所醍醐支所地域力推進室  
075-571-6105

## 秋

9月 第1日曜 八朔祭(長尾天満宮)  
秋分の日 秋季彼岸会法要(各寺院)

10月 9日 報恩講(日野誕生院)

11月 1日 例大祭(長尾天満宮)  
3日 石田のお祭り(石田神社=天穗日命神社)  
3日 大祭(壹尾神社)  
23日 お十夜(各寺院)  
23日 御火焚祭(長尾天満宮)

12月 18日 しまい観音供(一言寺)  
31日 除夜の鐘(各寺院)

1月 1日 初詣(各寺社)  
14日 日野裸おどり(法界寺)

2月 3日 節分祭(各寺社)  
15日~21日 五大力尊仁王会前行(醍醐寺)  
23日 五大力尊仁王会(醍醐寺)

※毎年2月(閏年をのぞく2月は2月)は、五重塔開扉納経法要と醍醐寺(醍醐寺)  
※上記日程は変更になる場合があります。

自治会・町内会に入って住みよいまちづくり  
京都市は、自治会・町内会を応援しています



京都市 CITY OF KYOTO  
CITY OF KYOTO  
京都市印刷物第024907号

